

記入者	山田広美	連絡先(内線)	255
-----	------	---------	-----

## 十和田市事務事業評価シート

### 【事務事業の概要】

整理番号		実施計画番号	78	
事務事業名	老人クラブ活動支援		事業開始年度	
担当課名	高齢介護課		事務の種類(選択)	自治事務
根拠法令等	厚生労働省老健局通知(H13.10.1老発第390号)	関連事務事業		
背景や経緯等	全国的に高齢化が進み、介護給付費の増大が問題視されている中、介護を受ける期間を少しでも短く、健康で長生きする「健康寿命」を伸ばすことが重要となっている。そのためには、高齢者が主体となつてとりくむ介護予防や、住み慣れた地域で生きがいを持って自立した生活をしていくことに対する支援が重要である。			
事務事業の目的	高齢者が地域で生きがいを持って暮らしていくために、高齢者の積極的な社会参加を促進し、自立した生活ができるようにすることを目的とする。			
実施状況	高齢者の生きがいづくりの活動拠点を老人福祉センターとし、活動の効率化を図るため、その運営について老人クラブ連合会に指定管理者として委託をしている。また老人クラブの活動の活性化を図るために、健康増進事業や教養講座・社会奉仕活動等の事業への支援を行うとともに、老人福祉バスの運行により、高齢者の活発な活動を支援する。			

### 【人件費の推移】

		24年度実績	25年度実績	26年度計画
正職員	従事者数(人)	1	1	1
	活動日数(日)	24	24	24
	人件費(千円)	864	864	864
正職員以外(選択↓)	従事者数(人)			
	活動日数(日)			
	人件費(千円)			

### 【事業費の推移】

		24年度実績	25年度実績	26年度計画
事業費合計(千円)		19,588	19,661	18,234
うち一般財源		16,038	16,140	14,684
うち国県支出金		3,550	3,521	3,550
うち地方債				
うちその他				

### 【指標】

活動指標	活動指標名①		老人クラブ会員数				
	計算式等		単位	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
			人	2,100	2,031	2,100	
	活動指標名②						
	計算式等		単位	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
成果指標	成果指標名①		老人福祉バス延べ利用者数				
	計算式等		単位	24年度	25年度	26年度	
			人	目標値	4,500	4,500	4,500
				実績値	4,294	4,444	
				達成度(%)	95%	99%	
	成果指標名②		老人福祉センター年間延べ利用者				
	計算式等		単位	24年度	25年度	26年度	
		人	目標値	6,000	6,000	6,000	
			実績値	5,904	5,673		
			達成度(%)	98%	95%		

# 十和田市事務事業評価シート

整理No	0
計画No	78

## 【担当課による検証】

ポイント		検証(選択)	評価	点数	合計	検証の理由		
妥当性	① 市民ニーズ等から見る妥当性 市民ニーズや時代潮流の変化により、事務事業の役割が薄れていないか	A 薄れていない B 幾分薄れている C 薄れている	B	1	3	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">存在意義の見直しの余地</td> <td style="text-align: center;">1 / 4</td> </tr> </table> 老人クラブ会員の高齢化や新規加入者の減少により、老人クラブ主催の各事業の参加者数は減少傾向にある。しかし高齢者が介護を必要としない状態で住み慣れた地域で生活するためには、重要な社会資源である。	存在意義の見直しの余地	1 / 4
	存在意義の見直しの余地	1 / 4						
② 実施主体である妥当性 行政が実施することが妥当か(民間と競合していないか)	A 妥当である B あまり妥当ではない C 妥当ではない	A	2					
有効性	③ 活動指標から見る有効性 活動指標の実績は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	B	1	4	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">成果向上の余地</td> <td style="text-align: center;">2 / 6</td> </tr> </table> 老人クラブ会員の減少傾向は年々進んできている。しかし老人クラブの活動を通じ、互助・共助の意識を高めて、地域の中でお互いに助け合える風土を作り上げていく必要からも、今後活動への柔軟な対応や、生きがいづくりにつながる様な活動の展開が必要である。	成果向上の余地	2 / 6
	成果向上の余地	2 / 6						
	④ 成果指標から見る有効性 成果指標の目標達成状況は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	2				
⑤ 事務事業の見直しの余地 成果を向上・安定させるため、事務事業の見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	B	1					
効率性	⑥ 事業費の削減の余地 事務手順の見直しや正職員以外での対応により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2	6	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">コスト削減の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 6</td> </tr> </table> 老人クラブ連合会や単位老人クラブは、主体的に計画立案・運営を行い活動をしている。また、10月末までの老人福祉センターの管理運営は、指定管理者制度により、委託先の老人クラブ連合会が適正に運営を行っている。	コスト削減の余地	0 / 6
	コスト削減の余地	0 / 6						
	⑦ 他の事務事業との統合・連携 類似又は関連事業との統合・連携により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2				
⑧ 民間委託等 民間委託・指定管理者・PFI等により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	★	2					
公平性	⑨ 受益の偏り 現在の受益は公平か。特定の個人・団体に受益が偏っていないか	A 偏っていない B 多少偏っている C 偏っている	A	2	4	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">受益者負担適正化の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 4</td> </tr> </table> 老人クラブの意義や参加を促進できるように、広報や連合会会報などを活用して広く市民に呼び掛けている。	受益者負担適正化の余地	0 / 4
	受益者負担適正化の余地	0 / 4						
⑩ 受益者負担の見直しの余地 現在の受益者負担は適切か。見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	2					
現在の適性					17 / 20	改善の余地	3 / 20	

## 【点数化による検証】

当該事業の現在の適性は20点中 **17** 点です。

当該事業の改善の余地は20点中 **3** 点です。

## 【担当課長による評価】

当該事業の今後の方向性(選択)

⇒ **現状のまま継続**

<b>方向性の理由</b> 老人クラブの活動は、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らしていくための社会参加の促進と、介護予防による、健康寿命の延伸のためにもとても重要な活動であると考えているため、今後も継続して支援していくことが必要である。
<b>今後の具体的な取組方策と狙う効果</b> 新規会員加入促進のため、老人クラブ連合会事務局や単位老人クラブとも高齢介護課が連携・協議し、魅力ある老人クラブの活動にむけて検討・周知していくことが必要である。

記入者		連絡先(内線)	
-----	--	---------	--

## 十和田市事務事業評価シート 記入項目の説明

### 【事務事業の概要】

整理番号		実施計画番号	
事務事業名		事業開始年度	自治事務または法定受託事務の別を記載
担当課名	担当課名を記載しています。		事務の種類(選択)
根拠法令等	実施の根拠となる法律・政省令または条例・規則等の名称と根拠条文を記載しています。	関連事務事業	関連のある他課の事務事業を記載しています。
背景や経緯等	事務事業にどのような背景や経緯があるかを記載しています。		
事務事業の目的	事務事業の狙いとしている目的、どのような状態をめざしているかを記載しています。		
実施状況	どのような事業を実施しているのか、取り組み内容を記載しています。		

### 【人件費の推移】

		〇〇年度実績	△△年度実績	◇◇年度計画		
正職員	従事者数(人)	正職員、正職員以外の別に、年度毎の従事者数、活動日数、人件費(概算)を記載しています。	0	0		
	活動日数(日)					
	人件費(千円)					
正職員以外(選択↓)	従事者数(人)				0	0
	活動日数(日)					
	人件費(千円)					

### 【事業費の推移】

		〇〇年度実績	△△年度実績	◇◇年度計画
事業費合計(千円)		0	0	0
うち一般財源	年度毎の事業費と財源の内訳を記載しています。	0	0	0
うち国県支出金				
うち地方債				
うちその他				

### 【指標】

活動指標	活動指標名①				
	計算式等	単位	〇〇年度実績	△△年度実績	◇◇年度計画
	活動指標名②	年度毎の活動の規模を記載しています。 例: デイサービス利用者数、研修会の開催回数、工事による延長距離 等			
	計算式等				
成果指標	成果指標名①				
	計算式等	単位	〇〇年度	△△年度	◇◇年度
			目標値		
			実績値		
			達成度(%)		
	成果指標名②	年度毎の活動の成果を記載しています。 例: デイサービスの利用により自立生活ができるようになった人、研修会を受けて地域で実際に活動している人、一定区間における交通事故発生数 等			
計算式等	単位				
		実績値			
		達成度(%)			



# 十和田市事務事業評価シート

整理No	
計画No	

### 【担当課による検証】

ポイント		検証	評価	点数	合計	検証の理由		
妥当性	① 市民ニーズ等から見る妥当性 市民ニーズや時代潮流の変化により、事務事業の役割が薄れていないか	A 薄れていない B 幾分薄れている C 薄れている	<p style="color: red;">事務事業の「妥当性」「有効性」「効率性」「公平性」の各項目について、適正であるものはA(2点)、概ね適正であるものはB(1点)、改善の余地があるものはC(0点)の3段階で評価しています。</p> <p style="color: red;">※既に改善や見直しを実施しているものについては、評価を★(2点)として取り扱っています。</p>	0	/ 20	<p style="color: red;">「妥当性」「有効性」「効率性」「公平性」について、担当課による検証の理由を記載しています。</p>		
	② 実施主体である妥当性 行政が実施することが妥当か(民間と競合していないか)	A 妥当である B あまり妥当ではない C 妥当ではない						
有効性	③ 活動指標から見る有効性 活動指標の実績は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない						
	④ 成果指標から見る有効性 成果指標の目標達成状況は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない						
	⑤ 事務事業の見直しの余地 成果を向上・安定させるため、事務事業の見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき						
効率性	⑥ 事業費の削減の余地 事務手順の見直しや正職員以外での対応により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済						
	⑦ 他の事務事業との統合・連携 類似又は関連事業との統合・連携により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済						
	⑧ 民間委託等 民間委託・指定管理者・PFI等により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済						
公平性	⑨ 受益の偏り 現在の受益は公平か。特定の個人・団体に受益が偏っていないか	A 偏っていない B 多少偏っている C 偏っている						
	⑩ 受益者負担の見直しの余地 現在の受益者負担は適切か。見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき						
			現在の適性	0	/ 20	改善の余地	20	/ 20

### 【点数化による検証】

当該事業の現在の適性は20点中 <span style="float: right;">点です。</span>	当該事業の改善の余地は20点中 <span style="float: right;">点です。</span>
---	---

### 【担当課長による評価】

当該事業の今後の方向性	⇒	
-------------	---	--

方向性の理由	<p style="color: red;">担当課長が検証内容を総合的に判断し、事務事業の平成25年度の方向性について、「さらに重点化を図る」「現状のまま継続」「有効性を改善して継続」「効率性を改善して継続」「公平性を改善して継続」「事務事業の統廃合を図る」「休止」「完了・廃止」の選択肢の中から選択しています。</p> <p style="color: red;">また、その理由及び今後の具体的な取組方策と狙う効果を記載しています。</p>
今後の具体的な取組方策と狙う効果	

## 十和田市外部評価事業資料

### 事業名：老人クラブ活動支援

担当：高齢介護課

- |                              |    |
|------------------------------|----|
| 1. 老人クラブとは                   | P1 |
| 2. 老人クラブ啓発資料<br>「老人クラブへのお誘い」 | P4 |
| 3. 老人クラブ連合会会報「満天」            | 別添 |

## 【 老人クラブとは 】

### 地域を基盤とする高齢者の自主的な組織

#### 《活動の目的》

- ① 仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、生活を豊かにする楽しい活動を行うとともに
- ② その知識や経験を生かして地域の諸団体と共同し、地域を豊かにする社会活動に取り組み
- ③ 明るい長寿社会づくり、保健福祉の向上に努めることを目的とする。

#### 《運営》

- ・会員本位の自主的かつ民主的な運営。

#### 《国・地方公共団体の支援》

- ・国や地方公共団体の支援を受けている。

#### 《老人福祉法における老人クラブの位置づけ》

- ・老人福祉法第 13 条において、「老人福祉の推進のための事業」と位置づけられている。

## 【 十和田市の老人クラブの状況 】

### 1. 単位老人クラブの活動

単位老人クラブ数 60 ・ 会員数 1,954 人（平成 26 年 4 月 1 日現在）

活動状況は、単位老人クラブの特徴・状況に合わせて、友愛訪問活動、清掃活動、地域見守り活動、教養講座、スポーツ活動などを実施。また、老人福祉バスを活用して年 1～2 回親睦・研修旅行を実施している。

### 2. 十和田市老人クラブ連合会の活動

各単位老人クラブの適正な運営と活動の充実を図るため、次の目標のもとに活動を展開している。

## 《重点目標》

### 1. 老人クラブの育成強化

- (1) 新会員の積極的な加入促進を図る…呼びかけ一声運動
- (2) 単位老人クラブの充実強化と会員以外の人との交流を図る
- (3) 会報「満天」の発行と活用

### 2. 社会奉仕活動の推進

- (1) 地域の美化（花いっぱい）、ゴミのない、きれいな環境づくり等、安全で明るい地域づくりのために一緒に行動を起こす
- (2) 地域における愛の一声運動（一人暮らし、寝たきり老人への友愛訪問の実施）
- (3) 相互支援活動の推進（一人暮らし老人への支援友愛活動）

### 3. 会員相互の親睦と資質の向上

- (1) 研修活動の推進と積極的参加…市老連で開催する各研修会、地区ごとの実施事業等いろいろな行事・事業へ積極的に参加
- (2) 会員の意識の高揚

### 4. リーダーの育成と資質の向上

- (1) 市老人リーダー研修会に進んで参加
- (2) 女性部員の参画と女性リーダーの育成

### 5. 健康保持増進

- (1) 市老連スポーツ大会、軽スポーツ大会、グラウンドゴルフ大会、健康づくり地区研修会、クラブで行うスポーツ大会に進んで参加
- (2) いきいきクラブ体操の普及
- (3) 市老連芸能発表会事業へ進んで参加
- (4) 老人クラブ活動保険加入の普及

### 6. 社会参加活動の推進

- (1) 市老連世代間ふれあい事業への参加
- (2) 相互支援活動の推進（一人暮らし老人への友愛支援活動）
- (3) 老人福祉バスを利用した社会探訪、観光、視察研修等への参加
- (4) 市主催の諸事業（イベント）、交通安全決起大会等への参加促進
- (5) 地域行事（地区・町内会行事）への参加
- (6) 全国赤い羽根共同募金活動へ市老連としての参加



## 【 行政としての支援 】

1. 単位老人クラブに対し、年 44,200 円の活動補助金交付（1 年目は半額）
2. 老人福祉バスの利用の促進（単位老人クラブ年 1～2 回利用）
3. 老人福祉大会の共催、老人クラブ功労者の表彰
4. 十和田市老人クラブ連合会に年 3,810,000 円の補助金交付

※ 老人クラブが開催する各事業について、自主的・主体的な活動を支援し、サポート体制を充実する。

## 【 老人クラブ活動の課題 】

○単位老人クラブ数・会員数ともに減少傾向がみられている。

〔その背景として考えられること〕

- ・個人主義的な傾向にある
- ・隣人同士での声かけが少なくなっている
- ・趣味や嗜好の多様化
- ・マイカーを持つ方が増加し、好きな時間に自由に行動できる
- ・集団行動でのトラブルの回避

○60 歳代の新規会員が少ない。（団塊世代）

## 【 会員減少に対する対策 】

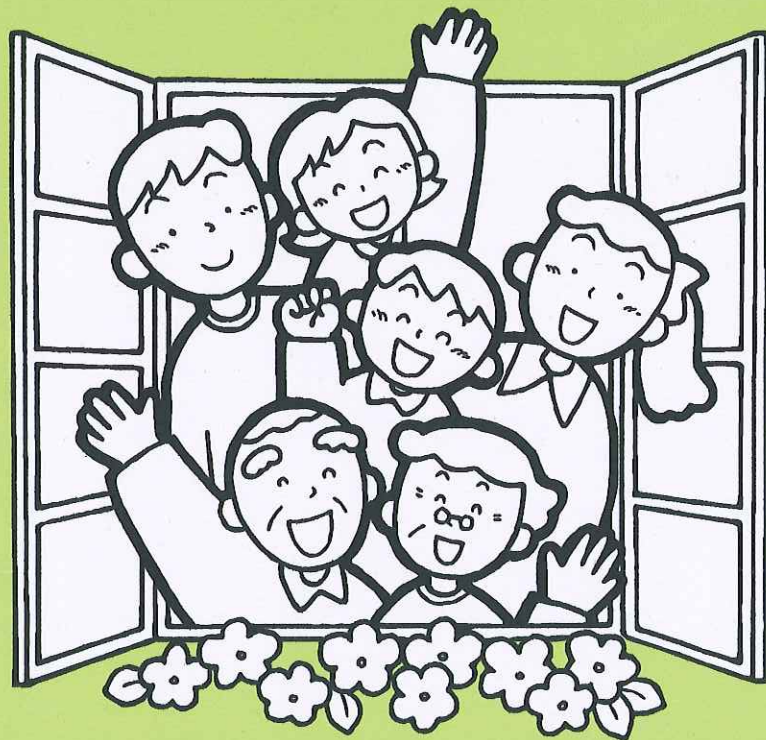
### 十和田市老人クラブ連合会『会員増強運動推進委員会』の設置

全国老人クラブ連合会、青森県老人クラブ連合会が、会員増強推進運動を平成 26 年度から 30 年度までの期間で実施することを受け、十和田市老人クラブ連合会としても活動を計画する。市も担当職員がそのメンバーとして参加し共に検討していく。



# 老人クラブへのお誘い

～老人クラブで生きがいづくりを♪～



市内には60の老人クラブが結成されており、たくさんの方々が健康・友愛・社会奉仕などの活動を活発に行っています。

全国的に高齢化が進む中で、老人クラブ会員数は減少傾向にあります。老人クラブ活動は身近な社会参加の機会であると同時に、介護予防にもつながります。

住み慣れた地域で生き生きと生活をするためにも、みなさんお誘い合わせの上、ぜひ老人クラブ活動にご参加ください。

十和田市

十和田市老人クラブ連合会



# 主な活動

## 【生活を豊かにする楽しい活動】

- 健康づくり:健康学習、各種シニア・スポーツなど
- 趣味、文化、レクリエーション:趣味・文化・芸能などの活動、研修旅行など

みんなでスカットボールを楽しんでいるところです！



【軽スポーツ大会の様子】



【市老連主催芸能発表会の様子】

現在は、4団体が十和田市老人クラブ連合会に所属する踊りクラブとして活動しています♪日ごろの練習の成果を芸能発表会等で披露しています。



- 学習活動、リーダー研修:友愛活動に関する研修、各種学習講座の開催など

とても楽しそうですね！



【健康づくり支援リーダー研修会の様子】

## 【地域を豊かにする社会活動】

- 友愛訪問、ボランティア活動、社会奉仕の日:  
在宅福祉を支える友愛活動  
(例:ひとり暮らし高齢者の自宅訪問など)  
福祉施設訪問、清掃活動など



【施設慰問の様子】

施設慰問では踊りを披露したりしています。こちらが元気づけられることも多いんですよ！

- 伝統活動、世代交流:地域の小学校の運動会への参加など



地域の小学校にて、子供たちとけん玉等をして楽しみました♪



【心の健康ふれあい事業の様子】

- 作業・生産、環境美化、リサイクル:子供との交流活動など



## 単位老人クラブ一覧（60クラブ）

平成26年4月1日現在

クラブ名	主な活動地区
早坂地区寿会	早坂、大下内
千歳会	元町、千歳森、北平
長和会	公園街2～3丁目(西十三番町)
大学通り老成会	大学通り(東三、十三番町)
板ノ沢喜楽会	板ノ沢
深持第一和楽会	深持
稲生会	稲生町
西小稲心交會	西小稲(穂並町、西五、十五番町)
南小稲寿会	南小稲(穂並町、西六、十六番町)
切田長寿会	下切田
洞内松竹会	洞内
大沢田芋久保安楽会	大沢田、芋久保
晴山長寿会	晴山
滝沢松竹会	滝沢
米田友誠会	米田
赤沼すこやかクラブ	赤沼
相坂上長命会	相坂上(白上、小林)
伝法寺高砂会	伝法寺
睦合老人クラブ	五十貫田、豊良
上切田若葉会	上切田
上切田松葉会	上切田
みゆき会	相坂下(長漕、小林)
藤島老人クラブ	藤島
中矢緑会	中菟、矢神、佐井幅
六日町長生会	六日町
立崎八斗沢榮楽会	立崎、八斗沢
天寿会	東三、十四番町(三本木小付近)
東小稲寿会	東小稲(穂並町、東五、六番町)
高清水ひまわり会	高清水
深持第二和楽会	深持

クラブ名	主な活動地区
北野北星会	北野、下町
和老会	公園街4～7丁目(西十三番町)
寺向長寿クラブ	寺向(西三番町)
吾郷熟年クラブ	吾郷
並木西旭クラブ	西四、十四番町
第三和幸会	西二十二番町
若葉地区寿会	西二十二、二十三番町 (若葉、花園、ひばり、桜木町)
平成会	西二十一番町
さわやかクラブ	本瀬戸山(東三、十三番町)
西十一番町和交會	西十一番町
八郷青峰会	八郷
南吾郷寿クラブ	南吾郷
七郷やませクラブ	七郷
ひがしの団地平成会	ひがしの団地
上金崎ゆうゆうクラブ	上金崎(西一、二番町)
法量蓬菜会	法量(法量、両泉寺、山口、漆畑)
中里川目楽笑会	法量(中里川目)
奥瀬老人クラブ 三和会	奥瀬(下川目、上川目、仙ノ沢)
新川原寿会	奥瀬(新川原)
小沢口福寿会	奥瀬(小沢口)
向村千歳会	沢田(向村)
田屋老人クラブ	沢田(田屋、二ツ家)
太田百寿会	沢田(太田、太田川原)
下洗ことぶき会	沢田(下洗)
三日市長生会	沢田(三日市)
宇樽部老人クラブ	宇樽部
いなおい川クラブ	東一番町
水尻鶴亀老人クラブ	沢田(水尻)
休屋にこにこクラブ	休屋
遊楽クラブ	中央公民館シニアパソコンサークル

仲間とともに楽しく活動してみませんか？



## 加入・設立について



### 〈組織について〉

- |     |  |
|-----|--|
| 年齢  | 原則60歳以上(但し60歳未満でも加入できます)   |
| 人数  | 原則30名以上(但し10名以上の場合でも認める場合がございますので、ご相談ください)                             |
| その他 | ①他老人クラブと重複加入している者がいないこと。<br>②会則を制定すること。<br>③老人クラブ内での役員を選出し、組織体制を整えること。 |

### 〈補助金・福祉バス利用について〉

十和田市へ関係書類を提出し、かつ十和田市老人クラブ連合会(市老連)へ所属している老人クラブへは、十和田市より下記の補助があります。

- ①補助金：設立時期により金額が異なりますので、下記担当までお問い合わせください。  
②福祉バスの貸出：年間1台(設立2年目以降は年間2台)  
⇒クラブ内での研修旅行等にご利用いただいております。

### 〈加入・設立について〉

加入をご希望の方は、お住まいの地域の老人クラブをご紹介しますので、下記までご相談ください。直接お住まいの地域の老人クラブへご相談されても構いません。

また、お住まいの地域に老人クラブが結成されていない等の理由で設立を検討されているかたは、下記までお気軽にご相談ください。


### ■サークル仲間での設立について

公民館や老人福祉センター等で活動している趣味の集まり(以下「サークル」)の仲間同士で老人クラブを設立することもできます。

〈注意点〉サークル活動に加えて老人クラブ活動を行っていただきます。

### ■老人クラブ加入の優先順位

- ① 既存の老人クラブへの加入
- ② 老人クラブが結成されていない地域は、地域の仲間同士で老人クラブを設立
- ③ ①~②ができない場合に限り、サークル仲間同士で老人クラブを設立



老人クラブが結成されていない町内会のかたは、地域で老人クラブづくりを進めてみませんか？

### 【ご相談は下記までお願いします】

老人クラブ活動について：十和田市老人クラブ連合会事務局

住所：〒034-0082 十和田市西二番町 12-14(十和田市老人福祉センター内)

電話：0176-25-8633

補助金・バス利用について：十和田市健康福祉部高齢介護課 高齢者支援係

住所：〒034-8615 十和田市西十二番町 6-1

電話：0176-51-6720(直通)